

平成23年度 知名町教育懇談会

7月8日(金)にあしびの郷・ちなで平成23年度知名町教育懇談会が開催されました。当日は、約200名が来場しました。「児童生徒の将来の夢をサポートする学校・家庭・地域の取組とは」というテーマのもとパネルディスカッションを行い、その後学校代表(六反茂 田皆中学校長)、保護者代表(中村浩章 下平川小PTA会長)、地域代表(大蔵英世 大蔵医院院長)の3名のパネラーを囲んでのグループ討議は大いに盛り上がりました。また、沖



永良部高校2年の西櫻子さんの、将来の夢や支えてくれた家族のことについての発表があり、その内容の素晴らしさに会場からは万雷の拍手が送られました。教育委員会は、今回の教育懇

談会をもとに、現在、子育て中の皆さんに向けて3つの「提言」をします。

提言1 子どもたちが進路を幅広く選択できるようにするための学力をつけさせよう。

(1)家庭学習に取り組める環境であるか見直そう。(時間・場所の確保、静寂であるか。)

(2)子どもの学習していることに興味をもとう。

提言2 子どもたちと夢や将来を語る機会をもとう。

(1)子どもが何になりたいのかを知ろう。

(2)子どもの夢を認め、アドバイスしよう。

提言3 子どもたちを褒めながら育てよう。

(1)子どもの努力を大いに褒めよう。

(2)子どもが努力している姿をしっかり見守ろう。

知名町の子どもたちが将来の夢に向かって頑張っている環境を、周りの大人がしっかりとあげましょう。



故山本重徳氏 旭日単光章を受章



山本重徳氏(故人)が旭日単光章を受章され、8月12日、町長室においてご家族への伝達式が行われました。

山本氏は、昭和31年から昭和47年までの16年余りにわたり、消防団員として、また、昭和42年4月から5年間、芦清良字区長として、地域の消防活動及び住民生活の向上発展に尽力されました。

山本氏は、町議会建設委員時代に、自ら農業に携わっていた経験から、生活基盤の柱となる産業としての農業の経営安定を図るための施策が必要であると感じ、中でも農地基盤整備の一層の推進及びビニールハウス等の農業用施設の充実を訴え、自らこれらの施策の実現に向けて執行部と一体となつて行動し、国・県などの関係機関に補助事業の採択を強く働きかけるなど事業導入に尽力されました。

また、山本氏は、昭和53年7月から平成2年7月までの12年間、農業委員会委員として、農地の重要性をよく認識され、農地の無秩序な開発を監視・抑制する役割を十分に発揮されたほか、生産性の向上のため農地集積、農業者年金加入促進等の政策にも積極的に取り組み、農家の所得向上・生活の向上発展に尽力されました。

「肥料を知る土を知る」

豊かな土づくりの基礎知識
農文教編 農山漁村文化協会

知っているようで案外知らない肥料のこと、そして育てる土のこと。肥料の特徴と使い方、その土のルーツ、土壌生物など、上手に肥料を使って土を豊かにしていく知恵を紹介する。



図書館だより

話題の本、入荷しました!



『下町ロケット』
池井戸潤著 小学館

佃航平は宇宙工学研究の道を諦め実家の町工場を継いでいたが、経営はまさに崖っぷち。だが、世界最先端の技術で特許出願をしていた佃製作所に、ロケット開発という思わぬ展開が……。『週刊ポスト』連載を加筆・訂正して単行本化。第145回直木賞受賞作。

お問合せ先 町立図書館 ☎93-4356